

正和設計株式会社

2014 年度 環境活動レポート

事業年度 2014年4月1日～2015年3月31日

(対象期間：2014年4月～2015年3月)



作成日：2015年8月25日

更新日：

事業内容

建設コンサルタント登録 【 建26第304号 】
○ 河川砂防及び海岸
○ 上水道及び工業用水道
○ 下水道
○ 道路
○ 鋼構造及びコンクリート
○ 土質及び基礎
○ トンネル
○ 施工計画、施工設備及び積算
○ 農業土木
測量業登録 【 第(14)-884号 】
地質調査業登録 【 質24第839号 】
補償コンサルタント登録 【 補26第989号 】
一級建築士事務所 【 (二)第1407号 】

有資格者

○ 技術士	10名	○ 技術士補	13名
○ RCCM	32名	○ 土木設計技士	1名
○ 測量士	16名	○ 測量士補	11名
○ 一級土木施工管理技士	20名	○ 二級土木施工管理技士	6名
○ コンクリート技士	2名	○ プレストレストコンクリート	1名
○ コンクリート診断士	1名	○ ダム管理技士	1名
○ コンクリート構造診断士	1名	○ 宅地建物取引主任者	2名
○ 一級建築士	1名	○ 二級建築士	1名
○ 地質調査技士	3名	○ 道路防災点検	4名
○ 補償業務管理士	3名	○ 橋梁点検技術研修	1名
○ 地籍主任調査員	2名	○ 高所作業者運転	2名
○ APECエンジニア	1名	○ 小型船舶操縦士	4名
○ 下水道第二種	4名		
○ 土地区画整理士	1名		
○ 騒音・振動関係公害防止管理者	2名		
○ 一級造園施工管理技士	2名		

主な受注先

国土交通省 □
NEXCO（西日本、中日本、東日本） □
水資源機構 □
日本中央競馬会 □
JRAファシリティーズ(株) □
滋賀県 兵庫県 大阪府 京都府 奈良県 □
近畿圏各市町村 他（順不同、敬称略）

所属団体

建設コンサルタンツ協会
日本測量協会
日本補償コンサルタント協会
全国地質調査業協会連合会
全国測量業団体連合会
土木学会
日本道路協会
日本下水道協会
地盤工学会
日本技術士会
日本国土調査測量協会
関西地質調査業協会
滋賀県測量設計技術協会
滋賀県建設コンサルタント協会
日本補償コン復興支援協会 他

正和設計株式会社

環境方針

当社は、風光明媚な滋賀県の大津市を本拠にして、河川や湖沼の自然環境の保全に関する事、水環境に資する上下水道に関する事、橋梁や多種多様の構造物を含めた道路を中心とする生活環境整備に関する事等の設計、測量、地質土質調査、補償業務を行っております。

近年ますます深刻化する地球温暖化や今後予想される地下資源の枯渇への対応が人類共通の最重要課題との認識に立ち、建設総合コンサルタント会社として、人にやさしく、地球にやさしい社会の実現を目指すことにより、環境負荷の低減を図るため、全社一丸となって自主的・積極的に、環境保全活動に取り組めます。

1. 地球温暖化防止のため、電力使用量削減、ガソリン使用量削減により二酸化炭素の削減に取り組めます。
2. 資源の有効利用のため、廃棄物を分別し、* 3 Rの推進により廃棄物削減及び、コピー紙の使用量削減に取り組めます。
3. 水資源の有効利用のため、節水に取り組めます。
4. 循環型社会推進のため、グリーン購入やグリーン調達を推進します。
5. 地球環境保全のため、環境配慮設計の提案を推進します。

上記について、環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

6. 社会貢献活動として道路の植栽管理や清掃をボランティアで行う『近江の美知普請』〔美知メセナ〕に参加し、道路清掃活動を行います。
7. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
8. 環境方針を全社員に周知徹底し、社外に活動内容を公表します。

* 3 R : Reduce(発生抑制)、Reuse(再使用)、Recycle(再資源化)

制定日：2010年4月1日

改定日：

正和設計株式会社

代表取締役 田中 英幸

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

正和設計株式会社
代表取締役 田中 英幸

(2) 所在地

本社	〒520-0806	滋賀県大津市打出浜3番7号
大阪支店	〒532-0011	大阪市淀川区西中島7丁目1番3号
神戸支店	〒650-0013	兵庫県神戸市中央区花隈町33番15号
三重支店	〒518-0025	三重県伊賀市西高倉4701番地
東京営業所	〒206-0031	東京都多摩市豊ヶ丘4丁目1番地4-201
京都営業所	〒616-8147	京都府京都市右京区太秦土本町11番地62
南丹営業所	〒622-0024	京都府南丹市園部町千妻東前20番地
奈良営業所	〒630-8015	奈良県奈良市四条大路南町23番20号
福井営業所	〒918-8025	福井県福井市江守中町7番208号
敦賀営業所	〒914-0125	福井県敦賀市若葉町1丁目127
松阪営業所	〒515-0005	三重県松阪市鎌田町403番9号
北海道営業所	〒060-0005	北海道札幌市中央区北5条西10丁目5番1号
東北営業所	〒980-0022	宮城県仙台市青葉区五橋二丁目11番1号
守山営業所	〒524-0043	滋賀県守山市二町町127番地3
湖西営業所	〒520-1655	滋賀県高島市今津町日置前197番地
東近江営業所	〒527-0143	滋賀県東近江市百濟寺本町1757番地
甲賀営業所	〒520-3421	滋賀県甲賀市甲賀町上野595番地
長浜営業所	〒526-0831	滋賀県長浜市宮司町709番地7号
大阪設計室	〒532-0011	大阪市淀川区西中島7丁目1番3号
伏見営業所	〒613-0911	京都市伏見区淀木津町603-4

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

管理責任者 常勤監査役 辻上 武彦 TEL:077-522-3124
担当者 常勤監査役 辻上 武彦 TEL:077-522-3124

(4) 事業内容

測量調査・補償調査・地質調査・環境アセスメント及び土木設計
国土交通省近畿地方整備局登録 測量業者 登録第(14)-884号
建設コンサルタント 建26第304号
地質調査業者 質24第839号
補償コンサルタント 補26第989号
滋賀県知事登録 一級建築士事務所 (二)第1407号

(5) 事業の規模

工事完成高 7億2616万円

	本社	大阪支店	神戸支店	合計
従業員	59名	6名	3名	68名
延べ床面積	1157㎡	93㎡	33㎡	1283㎡

(6) 事業年度 4月～3月

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名: 正和設計株式会社
対象事業所:

本社
大阪支店
神戸支店
三重支店
東京営業所
京都営業所
奈良営業所
守山営業所
湖西営業所
東近江営業所
甲賀営業所
南丹営業所
福井営業所
敦賀営業所
松阪営業所
北海道営業所
東北営業所
長浜営業所
大阪設計室
伏見営業所

活動: 測量調査・補償調査・地質調査・環境アセスメント・土木設計・施工管理

□ 当社の設計物件

業務名: 常盤南学区・ナカダ川付替河川設計
所在地: 愛知県岡崎市大井野町
施工者: 中日本高速道路(株) 豊田工事事務所

■ 多様な生態系の保持保全・ホタル再生

新東名高速道路築造に伴う普通河川ナカダ川の付替河川整備は、治水(洪水流下)の安全性を確保するとともに「多様な生態系の保持保全」を目標に、岡崎市の地域特性である「ホタルの再生」をコンセプトとした「底生動物等の生息・やすらぎの場の川づくり」を提案した。

河床は低々水路(川幅1/3)の配置により、平常時の水量でも底生動物等の生息可能な水深を確保し、落差工部ではホース製の玉石や植石の配置により、変化に富んだ水流を創造した。護岸にはホタルブロック、水際にはカゴマツトの設置により、ホタル等の生息環境(ハビタット)の再生に配慮した。

※下記の写真は工事完成後2年目の現状



下流部環境護岸



落差工部低々水路(川幅1/3、ホース玉石、水流変化)



上流側緩勾配隠し護岸によるエコトーン創造

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2009年度 (基準年度)	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
二酸化炭素総排出量 二酸化炭素排出係数 0.378	kg-CO ₂	106,378	108,050	98,833	108,045	85,150
廃棄物排出量	トン	8.0	4.6	4.0	3.4	3.7
一般廃棄物量排出量	トン	3.9	3.0	2.4	2.1	2.1
産業廃棄物排出量	トン	4.0	1.6	1.6	1.3	1.6
総排水量	m ³	304	329	271	291	264

□環境目標及びその実績

項目	年度	2009年度	2014年度		2015年度	2016年度
		(基準年度)	(目標)	(実績)	(目標) 基準年度比	(目標) 基準年度比
電力の二酸化炭素排出量 削減 排出係数0.378	kg-CO ₂ 基準年度比	55,290	52,525 95.0%	38,536 70%	51,973 94%	51,420 93%
自動車燃料の二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂ 基準年度比	51,007	48,457 95.0%	46,537 91%	47,946 94%	47,436 93%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	106,297	100,982	85,073	99,919	98,856
一般廃棄物の削減	kg 基準年度比	3,936	3,740 95.0%	2,098 53%	3,701 94%	3,660 93%
水道水削減	m ³ 基準年度比	304	289 95.1%	264 87%	286 94%	283 93%
コピー使用料金削減	円 基準年度比	4,858,785	4,615,846 95.0%	4,573,647 94%	4,567,258 94%	4,518,670 93%
グリーン購入	% 基準年度比	93.2%	95.5% 102.5%	94.0% 101%	96.0% 103%	96.5% 104%
環境配慮設計	件 基準年度比	3	3 100.0%	4 133.3%	4 133.3%	5 166.7%

上記には2014年度の都市ガス37Nm³ 77 (kg-CO₂) は含まれておりません。

産業廃棄物は年末大掃除の混合廃棄物である為マニフェスト管理を徹底しています。

本社

項目	年度	2009年度	2014年度		2015年度	2016年度
		(基準年度)	(目標)	(実績)	(目標) 基準年度比	(目標) 基準年度比
電力の二酸化炭素排出量 削減 排出係数0.378	kg-CO ₂ 基準年度比	50,916	48,370 95.0%	33,155 65.1%	47,861 94%	47,352 93%
自動車燃料の二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂ 基準年度比	47,568	45,190 95.0%	43,537 91.5%	44,714 94%	44,238 93%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	98,484	93,560	76,692	92,575	91,590
一般廃棄物の削減	kg 基準年度比	3,240	3,078 95.0%	1,323 40.8%	3,046 94%	3,013 93%
水道水の削減	m ³ 基準年度比	304	289 95.1%	264 86.8%	286 94%	283 93%
コピー使用料金削減	円 基準年度比	4,368,438	4,150,016 95.0%	3,399,441 77.8%	4,106,332 94%	4,062,647 93%
グリーン購入	% 基準年度比	93.2%	95.5% 102.5%	94.0% 101%	96.0% 103%	96.5% 104%
環境配慮設計	件 基準年度比	3	3 100.0%	4 133.3%	4 133%	5 167%

大阪支店

項目	年度	2009年度	2014年度		2015年度	2016年度
		(基準年度)	(目標)	(実績)	(目標) 基準年度比	(目標) 基準年度比
電力の二酸化炭素排出量 削減 排出係数0.378	kg-CO ₂ 基準年度比	2,446	2,324 95.0%	4,114 168.2%	2,300 94%	2,275 93%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	2,446	2,324	4,114	2,300	2,275
一般廃棄物の削減	kg 基準年度比	588	559 95.1%	694 118.0%	553 94%	547 93%
コピー使用料金削減	円 基準年度比	432,000	410,400 95.0%	1,081,299 250.3%	406,080 94%	401,760 93%

ビルに入居の為水道水使用量が把握できない為に節水活動の目標です。

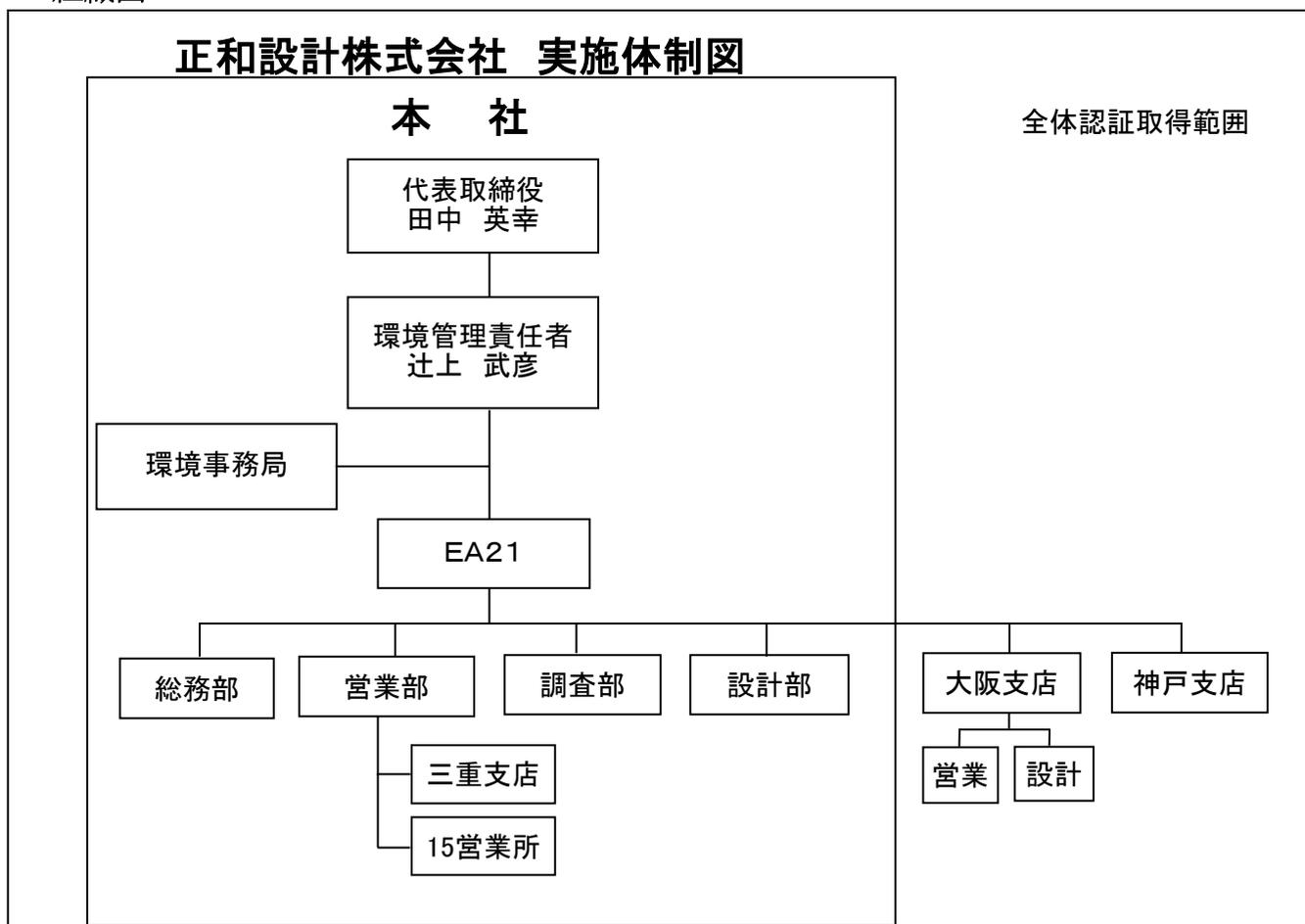
神戸支店

項目	年度	2009年度	2014年度		2015年度	2016年度
		(基準年度)	(目標)	(実績)	(目標) 基準年度比	(目標) 基準年度比
電力の二酸化炭素排出量 削減 排出係数0.378	kg-CO ₂ 基準年度比	1,928	1,831 95.0%	1,267 65.7%	1,812 94%	1,793 93%
自動車燃料の二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂ 基準年度比	3,438	3,267 95.0%	3,000 87.3%	3,232 94%	3,198 93%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	5,366	5,098	4,267	5,044	4,991
一般廃棄物の削減	kg 基準年度比	108	103 95.4%	81 75.0%	102 94%	100 93%
コピー使用料金削減	円 基準年度比	58,347	55,430 95.0%	92,907 159.2%	54,846 94%	54,263 93%

ビルに入居の為水道水使用量が把握できない為に節水活動の目標です。

□

組織図



□環境活動の取り組み計画と評価

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価（結果と今後の方向）
電力による二酸化炭素排出量の削減	○	
・冷房温度28℃設定とクールビズ運動	◎	2014年度の受注状況は近年の最高額となり順調である。LED照明を全体の2/3に導入したこと。デマンド監視装置によりピークカットしたこと。エアコンを7台入れ替えたこと。その他環境教育による意識向上により対前年比電気使用量は80%、電気代では91%と電気使用料金が上がっている状況の中で削減できた。今後も計画的に設備投資をして更に省エネを徹底します。
・昼休みなどは消灯を励行する。	◎	
・空調機のフィルターは年2回清掃する。	○	
・長時間使用しないパソコン・端末機は電源を切る。	○	
・退社時、終了時には、パソコン・端末機の電源のオフを確認する	○	
・コピー機、パソコン、エアコンを省エネタイプに更新	○	
自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減	○	売上高が対前年比8%増加しているがガソリン使用料は3割削減できた。ガソリン使用量は仕事の遠近にもよるが、当社は計画的に自動車の新車乗り換え推進している。東北の業務を減らし近場の仕事を増やした。今後も長期的視点で燃費の良い車種に更新する。
・長時間、駐停車時のアイドリングストップ	△	
・急加速・急停車の防止	○	
・車内冷暖房の控え目使用	○	
・不必要な荷物は積まない	○	
・低燃費車の導入	○	
一般廃棄物の削減	○	ゴミの分別をして、リサイクル推進をしている。2015年2月24日にISMSの認証を取得した。秘密書類は大津板紙(株)に持ち込み新聞の原資にリサイクルしている。今後も引き続きリサイクルを推進して一般廃棄物削減いたします。
・ミスコピーの防止	○	
・分別による古紙のリサイクル化	◎	
・帳票見直しによる印刷物の削減	○	
コピー使用料金の削減	○	2014年度は対前年比新規受注額は3%増加で近年の最高額である。受注環境は好転により仕事量増加したがコピー代金は昨年比18%の削減である。成果品の電子納品も進んでいるが、受注先の指示によるものである。コピー使用量を減らすためにコピー機のそばに「3つのRで、ゴミの減量にご協力下さい」を添付して無駄なコピーの使用枚数を減らすことに努めている。この為コピー紙の管理を枚数ではなく社員にわかりやすいように金額で表示した。今後も継続してゆきます。
・回覧で済むものは人数分コピーしない	○	
・スタートボタンの前に倍率、用紙サイズ、枚数、濃度等を点検する	○	
・縮小コピー(2UP)を利用する。	△	
・両面印刷を利用する	◎	
・コピー終了後にリセットボタンを押す	○	
節水	○	節水を呼びかけ実施してきたので目標を達成した。今後も節水を徹底させることに努める。
・水漏れを起こさない	△	
・水は出しっ放しにはしない	○	
・止水状況が悪いとき早めにパッキングを取り替	○	
・水の使用には節水を心がける	○	
グリーン購入	×	庶務で必要なものを購入する際エコ商品を優先して購入している。業務に関するものでグリーン購入出来ないものがあつた。今後もエコ商品を優先して購入する。
・購入リストのエコマーク商品から購入	○	
・今期は実績の調査と現状の把握	○	
製品への環境配慮	○	牧場拡張事業に係る自然環境調査を実施した。事業計画地に分布するコナラ群落やヒノキ植林、リョウブ群落、ネザサ群落の大部分が改変地に分布することから、水域環境の保全、施工後の法面緑化、植生の再生により、森林性の動植物生息・生育環境はある程度保全される設計をしている。今後も継続する。
・設計に環境配慮の意識向上	○	
・新技術、新工法の活用	○	

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）	遵守状況
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（金属屑、廃プラ、廃ガラス、廃油等）	○
自動車No x・PM法	大阪府車種規制適合車標章添付	○
家電リサイクル法	エアコン更新	○
自動車リサイクル法	自動車乗り換え	○
改正フロン法（旧フロン回収・破壊法）	業務用空調機廃棄時フロン類の適切な処理	○
消防法	消防計画の策定	○

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

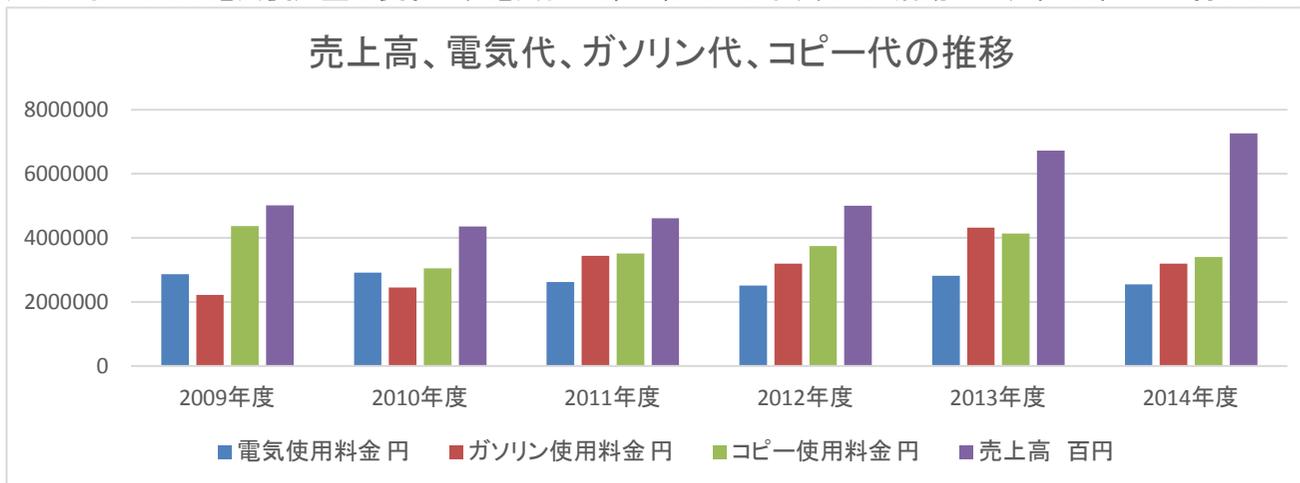
なお、違反、訴訟、関係当局などからの指摘等も過去3年間ありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し

エコアクション21を構築して5年が経過しました。5年間のエネルギー使用料推移は下記の通りです。

		2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2009年比導入の効果	比率
電気使用量	kWh	134,698	134,555	115,348	115,054	110,402	87,711	(46,987)	-34.9%
電気使用料金	円	2,862,634	2,910,329	2,621,992	2,517,936	2,814,408	2,546,335	(316,299)	-11.0%
1kWh単価	円	21	22	23	22	25	29	8	36.6%
ガソリン使用量	リットル	17,171	18,127	24,006	21,693	26,521	18,753	1,582	9.2%
ガソリン使用料金	円	2,222,633	2,446,667	3,438,878	3,196,428	4,314,860	3,190,620	967,987	43.6%
コピー使用料金	円	4,368,438	3,047,417	3,516,321	3,745,624	4,136,855	3,399,441	(968,997)	-22.2%
売上高	千円	501,686	435,898	461,341	500,844	672,536	726,161	224,475	44.7%
当期純利益	千円	-45,055	4,116	5,822	7,613	33,061	59,435	104,490	-231.9%

2014年度は2009年度比電力使用kWhでは35%減、電気料金では11%減である。1kWh単価も21円から29円に上昇
EA21を導入してなかったら電気使用量は変わらず電気代が3,906,242円となり、EA21活動により1,359,907円得したことになる。



今まで実施してきたこと

電力使用量関係

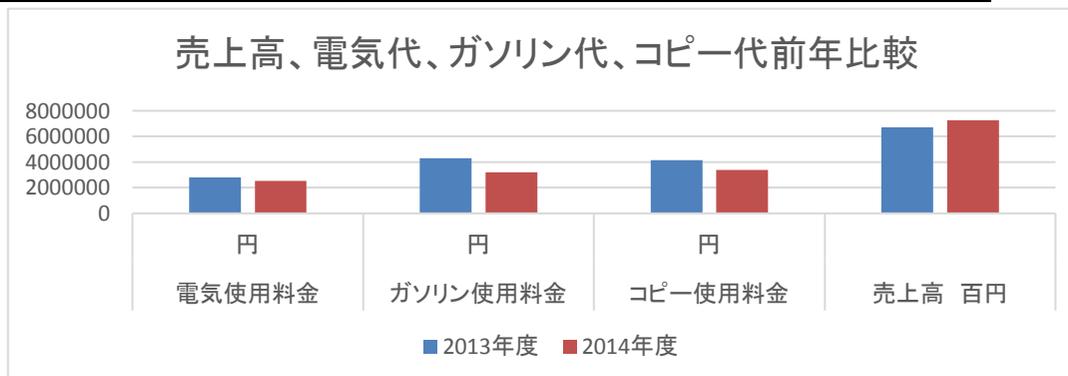
- ①2011年8月には1階営業室が吹き抜けになっていたのを間仕切りし、エネルギーの逃げるのを防いだ。
- ②2012年4月に自動販売機を省エネ型に更新した。
- ③2013年4月にデマンド監視装置を設置し、ピークカットをし節電に貢献した。
- ④2013年9月には1階事務室3階設計室の蛍光灯164本をLEDに交換した。(レンタル)
- ⑤2014年12月には2階測量、地質調査室を146本をLEDに変換した。
- ⑥2014年6月に会長室、サーバー室、3階奥の3台空調機設備更新した。
- ⑦2015年2月3階設計室の空調機4台を設備更新した。
- ⑧2015年6月2階測量室3台、1階2台の計5台の空調機設備更新した

ガソリン使用量関係

- ①2012年7月、2012年8月、2013年7月、2014年2月、2014年3月、2014年8月、2014年10月に社有車を新車に更新した。計7台

2014年度の活動状況

		2013年度	2014年度	差額	対前縁比
電気使用量	kWh	110,402	87,711	-22,691	-20.6%
電気使用料金	円	2,814,408	2,546,335	-268,073	-9.5%
ガソリン使用量	リットル	26,521	18,753	-7,769	-29.3%
ガソリン使用料金	円	4,314,860	3,190,620	-1,124,240	-26.1%
コピー使用料金	円	4,136,855	3,399,441	-737,414	-17.8%
売上高	千円	672,536	726,161	53,625	8.0%
当期利益		33,061	59,435	26,374	79.8%



エコアクション21を2010年に取得し、当時当社は業績不振の中にありましたが、地球環境保全を旗頭に、CO2削減に全員で取り組んできました。CO2削減は細かなことこつこつと取り組むことで経費節減になり、利益に貢献し企業経営に役立っています。

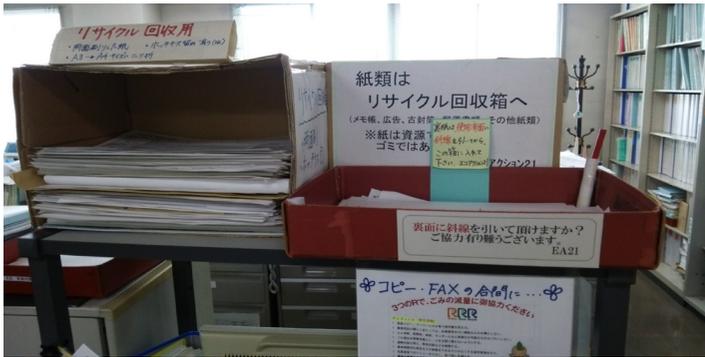
2015年2月情報セキュリティシステムISO27001の認証を取得し、紙類は新聞紙の原資にリサイクルをし、環境保全と情報セキュリティを融合させた。

今後も計画的に設備更新をし、社員の環境意識を向上させて、更にCO2（二酸化炭素）削減に取り組んでゆきます。

環境活動の紹介
デマンド値監視装置



リサイクル風景



美知メセナ風景



美知メセナ風景



LED



ゴミの分別



美知メセナ風景



美知メセナ風景

